

## 令和2年6月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

**松本 洋介 議員**

◇休校後における児童生徒の対応について

(1) 休校による学習の遅れについて

①休業中の学習の遅れへの対応について伺いたい。

(教育長答弁)

現在、県内の小・中学校においては、臨時休業にかかる学習の遅れを本年度中に取り戻すべく、行事の精選、学習内容の見直し、夏季休業中の授業日設定等の対策を講じ、懸命に取り組を進めているところであります。なお、指導に当たっては、通常実施する授業中の確かめや定期考査の実施に加えて、7月中に実施する県学力調査をはじめ、各種学力調査の活用を図るなど、あらゆる方法で、すべての児童生徒の学力の定着状況を的確に把握することが大切であると考えております。その上で、遅れが見られる児童生徒には、個々に応じた学習プリントを準備したり、放課後や夏季休業中に個別に指導したりするなど、丁寧に対応していくこととしております。

②夏休み中のインターネットを活用した学習についての考えを伺いたい。

(教育長答弁)

臨時休業に伴う学習の遅れにつきましては、各学校における取組で十分に補えるものと考えております。その上で、夏季休業中に各家庭のテレビやインターネットを活用し、自主的な学習に取り組むことも学びを深めるという点で、有効であると考えます。

県教育委員会としましては、児童生徒が自主的な学習に利用できるコンテンツをまとめ、各学校へ周知するとともに、「学び直し動画」を動画配信サイトで広く一般に公開するなど、必要に応じて活用することができるよう、支援しているところであります。

(2) 受験生への対応について

「新たな公立高等学校入学者選抜入試制度導入とコロナによる影響について」

①改善される公立高等学校入学者選抜の目的等について伺いたい。

(教育長答弁)

今回の入学者選抜改善の目的は、受験生が主体的に学校を選ぶことができ、受験生の学ぶ意欲や多様な能力を評価できるようにすることです。前期特色選抜を導入したことにより、これまでの推薦入試と異なり、生徒は中学校長の推薦がなくても受験することが可能となります。各校が、求める生徒像及び選抜方法を示しているため、受験生は自らの強み

を生かして、主体的に学校・学科・コースを選ぶことができるというメリットがあります。また、意欲ある生徒が入学することで、高等学校の特色化・魅力化につながるものと考えております。

②オープンスクール等が延期されるとのことだが、受験制度の説明の在り方について伺いたい。

(教育長答弁)

オープンスクールにつきましては、各学校の特色や魅力を発信し、入学者選抜の方法等について説明するための大変重要な機会だと考えております。今年度については、コロナウイルス感染防止のため7月までは実施を見合わせておりますが、8月以降、多くの学校で、時間帯や期日を分けて実施するなど、「3密」を避けた感染防止対策を講じた上で、順次開催するよう計画しております。

③今後、臨時休業となった場合、中学3年生への受験上の配慮について伺いたい。また、受験会場でのコロナウイルス対策等について伺いたい。

(教育長答弁)

今後の臨時休業の可能性も想定して、令和3年度長崎県公立高等学校入学者選抜における学力検査の出題範囲の縮小も含め検討しているところです。現在、各市町教育委員会等、関係機関の意見を伺っておりますので、7月中には方向性を示したいと考えております。

入試当日の感染防止対策については、今年3月に行ったように、マスク着用の励行、検査場における「3密」の回避、消毒の徹底等を図ってまいります。また、発熱等の症状のある受験生については、別室での受験も可能です。さらに、当日受験できない生徒については、追検査を受ける機会を設けるなどの対応をしてまいります。